

令和7年度都立田無高校における教科指導の重点（1学年）

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「読むこと」の指導の充実	・毎週木曜日の朝学習時に漢字テストを実施。 ・小論文講習を通して書く力を養成。 ・年間5冊の課題図書の設定と課題作成。 ・古典への興味と知識の滋養。百人一首大会の実施。	・学年行事としての漢字コンテストの実施。 ・百人一首大会の実施。
地理歴史	主体的に社会に参画する資質・能力を育成する。	現代社会の課題に結び付ける指導を行い、問題発見力や問題解決力を身につける指導を行う。	資料やデータをもとに考察する思考力や、それを論理的に説明できる表現力を育成する。
数学	・数学的な見方や考え方を育てる。 ・数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育てる。	・事象を数学的に捉え、数学の本質を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施。
理科	自然との関わりを重視した授業展開をおこなう。	実験、ICT端末を活用し、実物を見せる授業を展開する。	科学館や科学イベント等の情報を授業内でも共有し、興味関心を高めるきっかけを提供する。
保健体育	自己の可能性を広げることのできる、「挑戦する心」を育てる。	考えて工夫して取り組むことと挑戦することで、できなかったことができるようになる経験を積み重ね、自己肯定感が高められるように取り組ませる。	・水泳(夏季)、持久走(冬季)、トレーニング(通年)において、苦手なことから逃げない取り組み。 ・3年間で様々な実技を身に付け、生涯運動に親しむ素養を身に付ける。
芸術	表現を工夫する力の育成	題材設定や授業展開において、生徒がより良い表現を考える機会を多く取り入れる。	表現活動の際に鑑賞活動を効果的に取り入れ、表現に生かせるように指導する。
英語	「話すこと」の指導の充実	・英語コミュニケーションⅠにおいては火曜日の朝学習にて単語テストを実施。 ・論理・表現Ⅰにおいては授業はじめの小テストで例文の暗記テストを実施。	ALTとの授業において、タブレット端末を使用しながら、プレゼンやスピーチ活動を取り入れる。
情報	情報社会を支える技術や役割を実習を通して習得させる。	・副教材で情報モラルをまとめたものを利用。 ・実習に必要な知識をまとめたテキストを使う。 ・情報を発信できる能力を取得させ実習を実施し、情報社会の進展に伴って必要になる技術の習得を目指す。	・外部の検定試験や国家資格の取得に力を注ぐ。 ・専門学校などで行っている、プログラミングや試験対策の授業を受講する。
人間と社会	よりよい生き方を主体的に選択し、行動する力を育てる。	調査活動・ワークショップ等の体験活動を実施する。	ボランティア活動への参加を支援する。